

山口科学技術子供フォーラム主催の「えきなが講座」を見学しました。

12月1日(日) 10:00-12:00 防府市立右田中学校理科室で第26回えきなが講座が開催されました。講師は名古屋大学の宇治原教授で演題は「身近にあるいろいろな結晶」です。

最初に結晶の構造説明を聞き、シリコン単結晶の組み立てを行いました。結晶が整然と並ぶことの論理を理解することで、シマウマのしまも、蝶の模様も、車の渋滞さえ説明ができるそうです。また、精度の高い結晶を使うことで、熱の発生を防ぎ、世界の消費電力を10%減らすことが可能となるそうで、それを実際に行うためにベンチャー企業を設立して対応していると聞いて面白いなと思いました。

単なる結晶の勉強だけではなく、宇治原教授が中学生のころ、どう考えていたか、なぜこのような職業についたのか、受験や大学でのエピソードや研究について話をされました。この内容の方が面白く、生徒たちのためになるのではないかと思います。以下のメッセージを贈られています。

“自分の夢を叶えることは難しい。しかし、人の夢を叶えることは無限の可能性がある。世界には70億人以上の人がいるのだから。誰かの夢を叶えることは可能だろう。”

“みなさんには、世界を変える力がある。そのためには、よく見て、よく考えて、「根本」を追求すること。そして、あきらめないことが大事。”

“がんばってください。世界の人々の新しい未来のために”



講義風景



シリコン単結晶の組み立て

<山口科学技術子供フォーラム>

- ・ 2013年結成のNPO法人。構成メンバー40名。
- ・ 子供の理科系離れを少しでも阻止すべく、同じ危惧を抱く大学教授に山口県に来て貰い、研究の楽しさを近距離で話して貰うことで、子供たちに理科系の魅力を感じて貰う「えきなが講座」等の活動を行っている。

以上